

**令和 4 年 9 月 30 日 10 時 30 分 ～ 12 時 40 分 於：曾我部町公民館**

<b>司会</b>	亀岡清泉荘 代表 松野	<b>記録</b>	亀岡清泉荘 代表 松野
-----------	-------------	-----------	-------------

**出席者** 亀岡市高齢福祉課・谷口さま、南部地域包括支援センター・西村さま、曾我部町自治会長・法貴さま、副会長・齋藤さま、学が丘区長・木村さま、民生委員後藤さま、並河さま、リンクす・堀川さま、利用者さまご家族・並河さま  
 亀岡清泉荘・宮崎、中村、村田

**欠席者** 南条区長・赤澤さま、利用者さまご家族・伊藤さま

- 9月30日現在の利用者さまの状況（別紙参照）  
 小規模多機能ホーム登録利用者さま：19名、グループホーム登録利用者さま：9名  
 小規模多機能ホーム及びグループホームの利用状況、報告事項等
- 利用者さまの地域について（別紙参照）
- 職員体制（別紙参照）
- 事業活動について（別紙参照）
- 事業所内の活動について（別紙参照）
- 今後の予定（別紙参照）
- その他

質問・要望・助言	回答・対応
介護は人材だと思う。私の勤務先では4月になる前にレベルを合わせて教育計画を立てる。それぞれのニーズに合わせて計画を立て、教育記録をつくる。それを審査するために、教育を受けた個人にも聴き取ることもしている。	教育計画は、研修期間のセミナー等の情報発信をして受講希望を募るにとどまっている。研修計画、育成計画について、今後話し合い策定し、運用していけるようにしたい。
緊急時、事故発生時の対応について 事故が起きた場合、その事象にどう対処するか、なぜなぜ分析（なぜを5回繰り返す）をすると細分化され、個別の要因が明らかになる。	事故発生時の協議は行っているが、協議のタイミング、メンバー、記録などバラつきがあるので、なぜなぜ分析も取り入れながら再発防止、未然防止に努めていきたい。
同業者との交流を通じた向上の取組みは大切だと思う。リーダーだけでなく、現場の困りごとを列挙して多様な視点から話し合うようにするのが良いと思う。	同業者間の話し合いはしばらく開催できていないが、亀岡市のざっくばらんの会や医療福祉連携会議などに、リーダー、メンバーも参加、若しくは情報共有し、巻き込んでいけるようにしていきたい。
地域ケア推進会議など2年程開催できていない。今年度は構成メンバーも代わり、再顔合わせから始めるような状態。同業者だけでなく、他の人も参加してもらって、民間の視点、考え方を取り入れることを今後検討していく。サイボウズなどのツールは今後重要性が高まると思う。生活支援のライフラインになるのではと思う。	地域ケア会議には参加して有意義な意見交換、情報交流をしていきたい。

次回、運営推進会議は 11 月下旬の平日（午前中で考えているが会議室の空き状況では午後もあり得る）で考えている